



密力事

R-18
Adult Only

今年も例年に違わぬ
暑い夏だ

ほう…

立派な屋敷
ではないか

本当に
俺たちだけで
借りてもいいのか

ああ

遠方からの親戚を
泊まらせるための
別荘だ

好きに使ってもらって
構わない

俺は蓮二からの
誘いを受け
この屋敷へと
足を運んだ

そうか…

ガラッ
ガラッ



浴衣か……
風情があつていいな

うむ、
いい風呂だった

俺は大抵
寝る時は
この格好だ

弦一郎らしいな
…それにしても
よく似合っている

せ、せ
そういうわけで
俺はそろそろ
寝ようと思うが

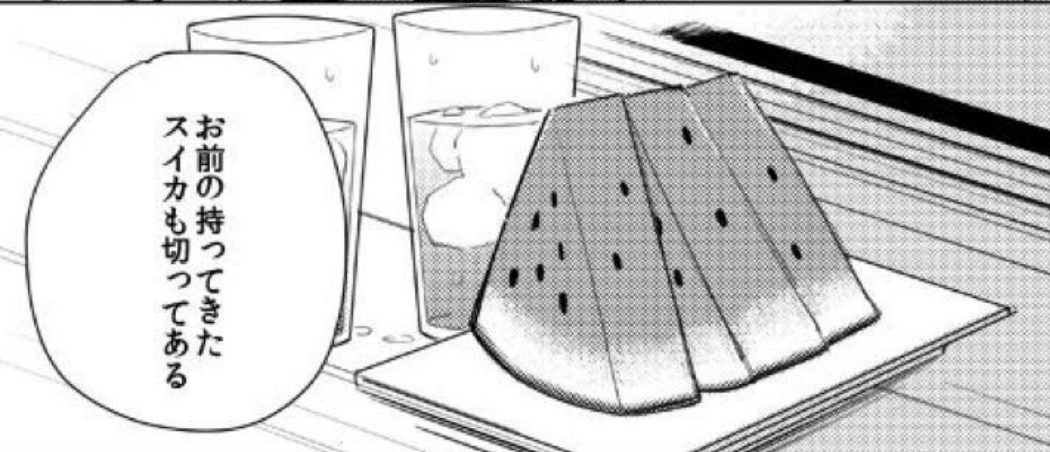
蓮二は……

む

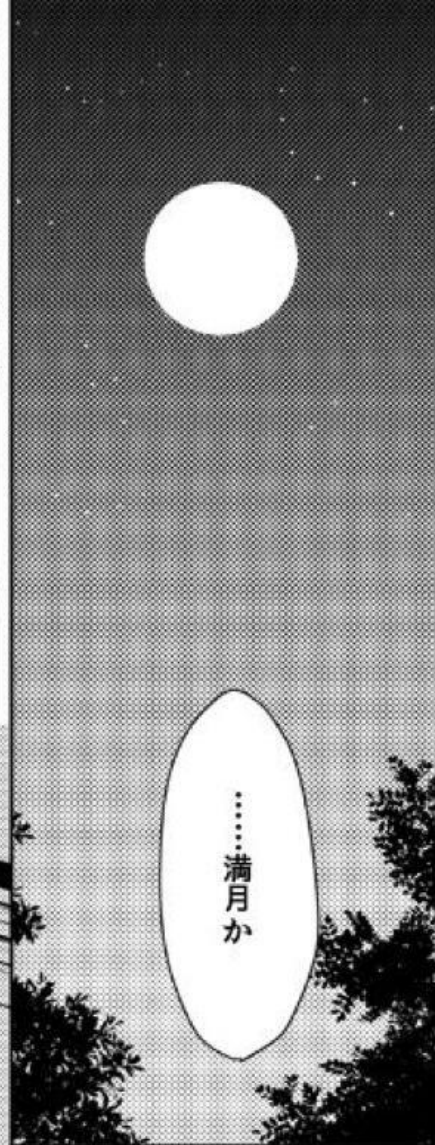
ドサッ



弦一郎
少し涼んでから
寝ないか



お前の持ってきた
スイカも切つてある



……満月か



寝る前に食べるとは
あまり関心せんが……



ほら

うむ……



蓮二

は、



ああ…

誘ってくれた
礼を言うぞ
気を使っ
てくれたの
だろう



……



いい風だな



たまにはこうして
静かに過ごすのも
いいと思っ
てな

あいつらが
一緒だと
こうは
い
か
な
い

はは、
ま
っ
た
く
だ



…お前に喜んで
もらえたのなら
何よりだ

それに……



蓮二と俺だけの

秘密の場所…
だ
な



それに……?



ああ……

そうだな
二人きりになるのは
初めてだ

そうだな

今ここには

俺とお前しか
いない

静かすぎて
うるさいくらいだ

い……

いつも
誰かしら家にいるから
不思議な感じだ

シヤッ
ゴッ



蓮二……



嫌だったら
はつきりそう
言ってくれ



弦一郎……



……いや、

じゃない……

俺には断る
すべなど持ち合わせては
いない



ふっ……

ただ触れたところが
やけに熱くて

ぽん

ぽん

手放しそうになる意識を
必死にたぐり寄せた



それは今まで交わした
どの口づけとも違っていた





はっ

はっ

あっ……

はっ

互いに抱いていた
淡い期待と焦燥を

れん……じ……



今なら暑さのせいにして
解き放てる気がした

弦一郎……



頭の奥がじんと痺れてきて

俺と蓮二の声しか聞こえない

れんじ……っ

そんなとこ、いじるんじゃ……

この世で二人だけになったような錯覚を起こす



まっ…
待て連二!



ずるいではないか
お前ばかり…!

待つと
言っている!



…
俺も同じだ
弦一郎

あ…

…
そして…
…



はっ…

…

弦一郎……
俺のも触って

もっふ……

……

そんなに切ない声で
求められたら

温かい

弦一郎と一緒に
気持ちよくなりたい……

たくさんあげたいと
思ってしまう

気持ちいい……

蓮二……

ブクブク

う……くッ

ハッ

う

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ん

ブクッ

ブクッ



あ、あ

はあっ

れ、んじ…も、

初めて聞く声も

初めて見る表情も

ああ…っ

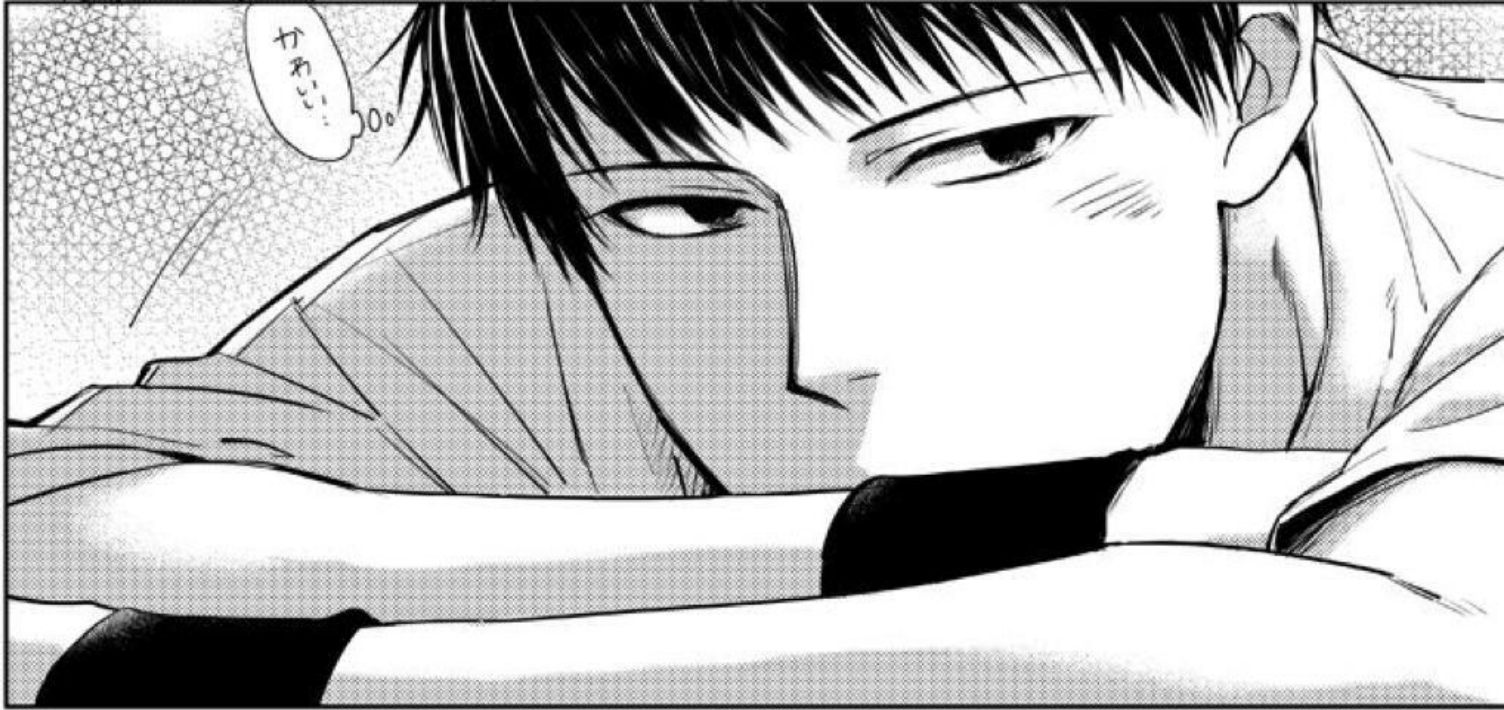
—…ッ

何もかもが愛しい

こっめ…



せつかく風呂に入ったのに汗だくだ！



かわい...

そうだ弦一郎一緒に風呂に入らないか

なっ……！！
…何もせんと約束するならいい

それはお互い様だろう

今までとは違う夏が始まるうとしている



FIN



密力事

The Prince of Tennis.Fanbook #10
Yanagi×Sanada

crescent 20130825